

難問

(2) 地点Aから見て屋根のむこう側には、崖Dがある。崖Dは、標高110mから120mにかけて高さ10mの垂直に切り立った崖である。この崖を北東側から南西に向かって見たときに見える地層の重なり方を、図7の地層の記号を用いて模式的に表した図として適切なものを、次のア～カから1つ選んで、その符号を書きなさい。

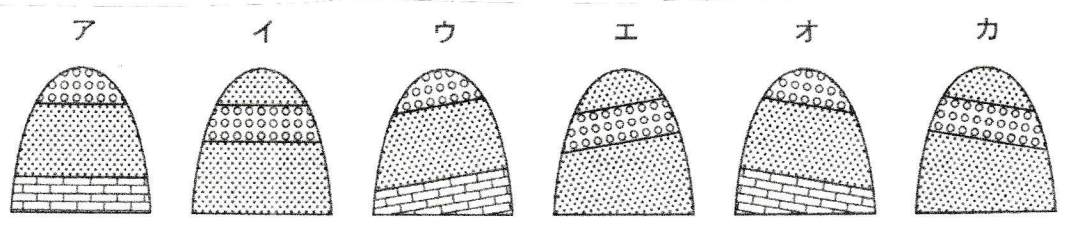
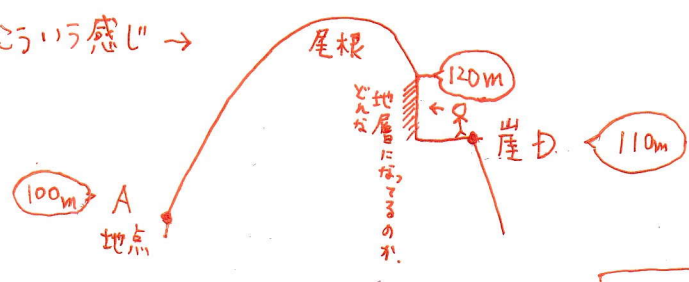
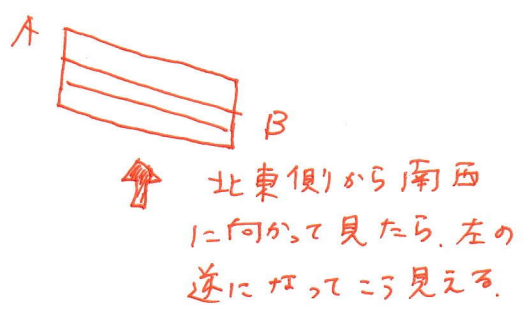
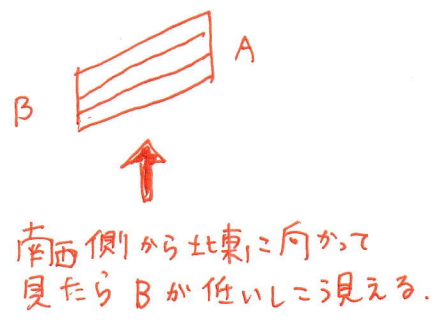
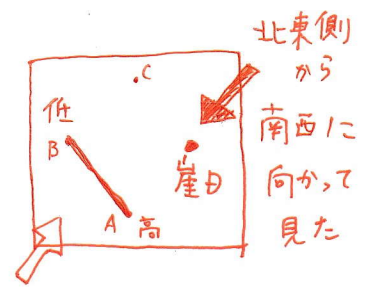


図7によるとこういう感じ →



(オ)

(1)より、B-A間は高低差があることがわかった。



あとは図7の地点AとBの柱状図を見て、地点Aが標高100mで、その上に何がのってるのが地点Bより判断し、

ここには、'オ'が'カ'が正解ということになる。

標高110mの崖は凝灰岩より上とわかる。なので'オ'が正解。